

福祉環境委員会記録

平成 31 年 4 月 11 日（木）
10 時 00 分～11 時 10 分
第 2 委員会室

（委員）柳楽委員長、上野副委員長

村武委員、布施委員、芦谷委員、田畑委員、澁谷委員、西村委員

（議長・委員外議員）西川議員、沖田議員

（事務局）新開書記

議題

1 政策討論会テーマについて

各委員の政策提案を持ち寄り、内容を協議し、テーマの絞り込みを行った。

→福祉環境委員会の政策テーマとして、

「認知症予防・介護予防の強化と健康寿命の延伸に向けての取組」に決定。

2 その他

次回開催日 平成 31 年 4 月 22 日(月)10 時から 第 4 委員会室

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 10 時 00 分)

柳楽委員長 | 福祉環境委員会を開催いたします。

1 政策討論会テーマについて

柳楽委員長 | まず皆さんに確認させていただきます。前回の会議終了後に、テーマは2つくらい出しても良いのではというご意見を耳にしたので、テーマを1つに絞るか2つくらい出すかについてご意見をいただきたいと思います。

澁谷委員 | テーマとはどういうもの。高齢者福祉と子育て支援しか出ていないけど。

柳楽委員長 | はい、そうなると必然的に1つは子育てが入るかもしれませんが。複数ということになればあとは高齢者福祉から。

澁谷委員 | 高齢者福祉だけでも大多数のものがあるのだとすると、組み合わせないと、一般質問レベルのものもあるので。最終的には24人の議員の総意として執行部に提案するなら理論武装して具体的にしないと。

柳楽委員長 | とりあえず皆さんが出してくださっています政策テーマについて、その中から1つに絞るのか2つに絞るのか。澁谷委員が言われたように子育て関係は澁谷委員さんのだけです。あとは全部高齢者関係なので、高齢者の中から1つ選ばれたとしたらその中に共通のものは組み込んでまとめれば良いのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

澁谷委員 | 他の委員会が動いてないので、この委員会は少なくとも1個はきちんとしたものを出したいなど。他委員会はこれから出すとなると多分、場当たりのものしか出てこないだろうと思います。今年が無理でも来年に回すこともできるので、2つ検討して出すのは1個とか、色んなやり方があると思います。ただ、1個でもこの委員会のインテリジェンスをまとめたいです。

柳楽委員長 | 他の方はご意見ありませんか。

上野副委員長 | 子育ての関係と高齢者の関係、せつかくここまでまとめている

ので、2つ一緒に進めていって次回へとできるのでは。

柳楽委員長

というご意見もございますが。

澁谷委員

今回は私以外の皆さんが高齢者福祉となっているので、高齢者福祉で1個まとめた方が皆さんの意見は出やすいのだろうという印象はあります。私が出した子育ての件にプラスアルファの政策を加味して実行していただくほどのエネルギーが皆さんにあるかどうか。とっつきやすいのは高齢者かなと。

柳楽委員長

並行してやるのはなかなか難しいですよ。やりたい気持ちはありますが。

澁谷委員

高齢者1本に絞ってまずやってみて、余裕があれば子育てもチャレンジすれば。

柳楽委員長

子育ては澁谷委員さんからしか出てきていないので。他にございませんか。

村武委員

ほとんどの方が高齢者について書かれているので、これをまとめて意見を出し合って1つ作って。私個人的には子育ても取り組まないといけないとは思っているので、余力があれば子育てもやっていくのはいかがでしょう。私も、どれくらい時間がかかるのか分からないので。

柳楽委員長

その他にご意見は。

(「なし」という声あり)

では、澁谷委員さん以外の政策テーマは高齢者関連なので、高齢者関連の中から1つ選んで、もし話の進み具合に余裕があれば子育てについても議論していく形でよろしいですか。

芦谷委員

それに注力するのは構いませんが、私が提案しているのは障がい者も含めた地域での福祉活動が弱いことです。安否確認や買い物等、地域での福祉に特化した活動はどうかという見地です。高齢者だけでも良いですが、私は地域での福祉活動を主張したかったということだけ申し上げておきます。

柳楽委員長

それを言えば私の提案も、高齢者に限らず子供の頃からの健康に関する取り組みについてなので、少し違う部分も入ってはいいます。

結局、子育てにしても高齢者の取り組みにしても、地域を外しての動きは考えられないと思うので、それも含んだということに

なるのかなと思います。

澁谷委員

地域福祉というのは言葉としてはあるけど、では具体的にどう
いう提案か。芦谷さんのを読んでもはっきりは分かりません。具
体的に執行部に「これを具体的にやってください」と提案する
とはなっていません。具体的な内容でないと政策提案にはならない
わけで、それは一般質問でやってもらえば良い。具体的なものを
加味してやっていけば良いのではと思います。

柳楽委員長

では高齢者関連のテーマの中から、どれか1つを選んでそこへ
肉付けする形で良いですか。政策テーマとして挙げていただい
ている中のどれか1つに対し、他の提案から持ってくる形で良いで
すか。

澁谷委員

今見ると、田畑さんの独居世帯と上野さんのが、言葉は違うけ
ど関連がある感じです。地域福祉全体の流れを加味しながらやっ
ていく。皆さんそれぞれの意見を聞きながらまとめていくしかな
いのでしょうか。

田畑委員

たまたまうちの自治会の中で孤独死が2件続いて、なぜそこま
で気づかなかったのだろうと。自分らは自主防災組織を作って
日々の安否確認等、地域における絆の集いみたいな形で事業をし
ていますが、それでもまだ孤独死される方がいる事実がある。

地域福祉と一口に言っても幅広い段階がある。視察に行つて西
村議員が言われたような認知症予防を強化して元気な高齢者を
増やそうと、それをすると同時に高齢者福祉の横の連携を作つて
いく仕組みづくりの必要性を感じました。一番やりやすいとは思
います。地域福祉を末端まで下げていくとなると、民生委員も空
白地域があるし、行政連絡員は本当は地域の実態が明確でもない
し、町内会が上手くいっていない現状を考えると、地域福祉の仕
組みづくりをきちんとやろうと思えば大変な時間がかかると思
われますので、認知症予防だと思います。

上野副委員長

うちも今年二人ほど孤独死の例がありました。しかも高齢者で
はないひとり暮らしの方で。移動販売車も毎日は廻れないし、4
割は赤字だそうです。それをどうにかしてあげないと範囲が広が
らない。自分では買い物に行けない、でも人の手を煩わせるのも
申し訳ないと気にしておられる。命に関わる問題だと思ってこれ

を選びました。

柳楽委員長

選考方法ですが、皆さん自分が出したものが一番良いと思っておられるはずなので、なかなか難しいと思います。もしよければ、今回のテーマに推したいものを書き出してみたらどうかと思うのですが、いかがですか。口頭で言えば良いですか。

田畑委員

独断と偏見があるかもしれないが、やはり独居世帯の問題と健康寿命、高齢者の階段の問題。それらを合わせて3つくらいに絞って、また集約する方が良いのではないのでしょうか。

柳楽委員長

1つに絞ったものに肉付けする方が早いのかと思うのですが。

芦谷委員

着地点は条例化か、予算化か、執行部に渡すのか、何か着地点の具体的なイメージが共有されれば、議論が散漫にならないと思うのですが。

柳楽委員長

テーマが決まらないと、持っていく方が出てこないのかとも思うのですが。

西村委員

高齢社会の現状で何が浜田市にとって一番問題なのかを、今日この場で議論することでテーマを絞るしかないと思う。孤独死は中山間地に行けば散見される状況はあるのだろうと思います。新聞紙上に載るか載らないかだけの話で。

柳楽委員長

亡くなられた方は外に出られない状態だったのですか。

田畑委員

中山間の方は元気。町なかの方が弱いのでは。浜田市全体で言うと高齢化比率が36、37パーセントくらいでしょう。弥栄に行くと50パーセントを超えている。弥栄の中でも小さな集落は100パーセントといった現状がある中、高齢者の課題には色々な考え方があってと思う。

西村委員

各々がそれぞれの問題意識を持っていて、共通点も相違点もあると思うけども。医療福祉分野で言うと、未だに解決の糸口さえ見えていないのが医療費が高い問題と、介護認定率が高い問題。ようやく執行部がそこに焦点を当てはじめた感じはしています。この3、4年くらい前から。だからその方向性を大事にしたい気持ちはあります。具体的に言うと琴浦町は高齢化率35、36パーセントでほぼ浜田と同じなのですが、なぜ認定率がこれだけ違うのか。医療費も調べないといけないと思っていますが。

柳楽委員長

一人あたりの医療費は向こうが高かったですよね。

西村委員 だから一口には言えないのだけど。

柳楽委員長 だけど何か言っておられませんでしたか。高額の治療費がかかるような病気の方がおられて……。

西村委員 それは小さい市町村ほどそうなる。

柳楽委員長 どうでしょう。

芦谷委員 西村委員が言われたこと、何が原因かはここで披れきして共通認識を持てば、次の方針案は出ると思います。高齢社会の何が問題で、何が原因かを出していけば。

西村委員 浜田市も介護予防をうたって施策はやっています。しかしなぜこれだけ認定率に差が出るかと言え、何か秀でたものを琴浦町はやっているのです。その1つが多分、認知症の問題だと思います。

柳楽委員長 私が琴浦町の取り組みをテレビで見た時に最初に思ったのは、検証がきちんとされている点は大きいのだろうということです。その事業でどれだけの実績が出ているかを把握されているから、継続してやられている。

西村委員 長年その人を追うでしょう。

柳楽委員長 そうです。

西村委員 それがやはりすごい。

柳楽委員長 これまで質問して、一応検証はしていると言われますが、同じことをやって検証するのではなく個々に合わせたやり方も必要かもしれないけど、それだとどれがどういう効果があるのかが見えにくいのかなと思ったりもします。同じことをやってみて、例えばこの人に対してはあまり結果が出なかった、といったことが分かるなら別の方法を試す形になるかもしれないけど。統一感がないので、その結果自体がどうなのかがあまり分からない気はします。

西村委員 逆に孤独死の問題で言うと、中山間地だとどこでも似たような状況があって、対策を打って少しでも減らすことは方向性としては当然やるべきだと思いますが、そのことが浜田市の高齢社会の現状の中でどういう意味を持つのかと言え、私の重要度から言うとだいぶ下がる認識です。

田畑委員 確かに高齢化率 36 パーセント全体から見ると、もっといろん

なことを考えないといけないかもしれないが、少なくとも現実としてそういう実態があることは、毎月の検針時に声をかけていただく。これは前に一般質問で取り上げたが、執行部は全然聞く耳なかったです。そういう時に声をかけていただくようにお金を出すのは必要最低限ではないかと。電気料金やガス料金、新聞が何日分もたまっているような時に声をかけていただくシステムに、あまりお金はかからないと思うので。

地方に行く程介護認定率が高い。埼玉県など 13 パーセント前後くらいです。それだけ運動をする施設があるのか通勤に駅まで歩くから健康なのか、色んな要素があろうけども、浜田は全国平均より高い。その分は保険料にそっくり跳ね返ってくる。そういう現実があります。予防するために琴浦町がやっている取り組みを見に行ったのだから、できると思うけど、そこに他の部分をつけていくか、それでも良いとは思いますが。皆さんの意見を絞り込むのが良いのか、子育ては子育てで二本立てが良いのか。

柳楽委員長

琴浦町に視察に行った時の話の中で、集いの場になかなか参加されない方に対して地域の方が声かけするような仕組みもできているといった話をされていたので、そういう所も取り上げられるのかなと思います。

話の中で出てきているのが、琴浦町の取り組みを通して浜田に合ったものを入れていくのが良いということだと思います。

西村委員

考え方によっては琴浦町の施策は 5 年、10 年のスタンスで見えていかないと効果測定は難しいところがあって。逆に田畑さんの言うことの方が効果が出る可能性もある。

田畑委員

老々介護が一番難しいのだろうけど、そういったことがゼロになるとは言えない。結局は横のつながりがなくなっているからこそ余計にそういった実態が生まれてくる。

芦谷委員

独居の人がいらして孤独死があったとすると、そういうことがあった時に慌てて市役所に行くというようではいけないと思います。身内もいるのだから何とか賄える、自助共助の仕組みを考えていかないと。一つの切り口だと思います。

上野委員

今までそういうのがうちの方にもありましたが、だんだん薄れてきたし、昔みたいに年寄がいるからと心配して。かえって町場

の方が厳しい状況になっているのではないかと。奥は隣近所で心配し合って電話したり行ったりしていたが、それすらもできなくなった。

芦谷委員 処方箋はないが、子どもの虐待も介護虐待もそれは親と子の間に入るわけでしょ。そのところは人が持つ本来の力を発揮することを片方で考えていかないと。

上野委員 僕が言うのは市役所ではなくて、個人で移動販売をしている人に更に踏みこんでもらって家に少し行ってもらうとか。今ある仕組みを上手く利用して。

芦谷委員 それは郵便配達も水道の検針も、牛乳配達も移動販売も、ネットワークを作れば良い。

柳楽委員長 今の浜田の現状として郵便局にそれを協力してもらっているのは、金城だけだったかな。あの後増えなかったのかな。

田畑委員 そうというのがゼロになることはないと思うけど、ある程度の費用は支払ってあげないと。

芦谷委員 市も確か 3、4 年前にひまわりネットワークとかと銘打って一応そういうのをやりましたよ。

柳楽委員長 毎日や頻繁に地域を廻られる方に。皆さんそれぞれ自分が出されたものに思い入れがあると思うのでなかなかまとまらないのですが、できれば 1 本に絞ってそこに肉付けさせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

澁谷委員 内容を読んでいくと、委員長と西村さんのが一番詳しいです。健康寿命と高齢者の認知症についてプレゼンしないといけない。プレゼンしたのを残り 14 人の議員に納得させないといけないですが、それは議長がさばくので、原本がしっかりした方が楽だとは思う。

柳楽委員長 今回決めさせていただいたテーマに肉付けをしますが、それにもはまらなかったようなことは、次の時に取り上げてやっていくことになると思うので。口頭で皆さんのご意見をいただくことにしますか、それとも書き出して、このテーマに肉付けとしますか。

田畑委員 原本が詳細にわたって書いてあることを採用して、それに肉付けする方が早いよね。

西村委員 それに対する意見ではないけど、田畑さんと上野さんのテーマ

に対する政策は、地域のつながりを生かしたり強固にしていくという視点でいくと非常に難しいと思います。例えば郵便配達やガスの検針時というのは日常的につながりがない人でしょう。仮に実践した時に地域の問題が解決するかと言え、それは解決はするかもしれないけど、地域のつながりを生かしていくという点には寄与が少ないと思います。

田畑委員

三隅全体であれだけまちづくり委員会ができたと言っているくらいで、小さな集落がまとまらないと大きなまちづくり委員会は成り立たない。自分たちもまだまだ横のつながりがない。全然知らない人が声をかけるのは難しいかもしれないが、少なくとも声かけだけはできる。全市的にやろうと思えば、那賀郡でも大変だし市内の住宅密集地では不可能に近い話だろう。自助互助でやろうと思ったら大変です。

西村委員

でもこれ全域でやろうという発想ではないのでしょうか。

田畑委員

全域よ。布施委員が言われる階段の問題とか、県営の木造住宅は階段の勾配がすごく急です。落下して亡くなる事故もあります。

柳楽委員長

言いたいことは色々あると思いますが、なかなか進まないのを書いていただいてもよろしいでしょうか。

どのテーマをもとにそこに出されたものを……私の気持ちとしたり今日皆さんに色々今までいただいた意見を考えると、1つテーマは出しますが、できるだけ皆さんから出してもらった中から組み込む形でいければ良いかなと思います。

澁谷委員

今日はガス抜きみたいなのところがあって、自分の言いたいことが言えれば良いかなという感じです。そこから絞り込んでいければ。それが中途半端に終わるとよろしくないの、とにかく今日は自分の思いを言ってもらうのが良い。

柳楽委員長

布施さんはどうですか。

布施委員

私はこれだけです。こういうことを実際に聞いたものですから。順番待ちで1、2階になかなか移れないと。空き家はあるのに階段の上り下りさえ困難で、デイサービスに言うと二人体制で応じると言われる、二人体制となると介護保険の補助がすぐ一杯になって大変だと、そういうことを3、4人から聞きましたので。市内の県営・市営にはエレベーターを付ける隙間がない所が非常に

多いです。エレベーター1基作るのに3000万円です。1棟ならだいたい1億円くらいかかります。住み替え制度をやっているかもしれないかもしれませんが、高齢者や病気の人を優先しているのかと思えばそうでもないようです。制度はあっても順番待ちだったり。考え方としてはそういうことをすることで出かけやすくなるし、ふくっぴーサロンや軽運動、健康チェック運動に少しは出かけやすくなるのではないかという提案です。政策提案とすれば全体的に、高齢者福祉の関係から市全体の政策に当てはまるように、福祉環境委員会での政策提案した方が良いでしょう。特に琴浦町に行って帰ってから委員会で質問した時に、できない理由をよく言うのですよね。できるところから始めれば良いのに、行政は100を揃えないと絶対に就かない感じがしてなりません。できるところからやることは一歩も二歩も進むと思うので、高齢者福祉の政策提言の中に入れていけば良いと思います。

田畑委員

結局は行政が介入すべきだろうけど、仕組みを作るのは地域の互助だ。それをさて置いてやろうと言ったってできやしない。

柳楽委員長

介護や医療の保険料が高いというのはよく聞きますが、なぜ高くなっているか市民の方は理解されていないと思います。医療を使う人、介護を利用する人が多くて自分たちの保険料に跳ね返ってくる、だから健康が大事だという意識までつながってないのかなとすごく思います。そういうことを分かっていただけではないことも問題の1つなのかなと、前からずっと思っていました。

西村委員

それは琴浦町の人でも高いと思っているよ、間違いなく。

田畑委員

人口が少ない分だけ1人が高額を使えば一気になくなる。

西村委員

自分の収入との比較だから。

柳楽委員長

高いと思っているのですが、自分たちがちょっと健康に気を遣うことで改善されていく、という意識を持っていただくのが大事なのかなと。

西村委員

それが行政のなせる技だ。

澁谷委員

医療費の場合はお医者さんとの関係がある。患者がやたらと薬をたくさんもらいたがったり、医者が薬を出したがったり。高齢者の家には残った薬が大量にあったりする。それも医療費をかなり押し上げていることを本当は理解しないといけないのだけど。

柳楽委員長

担当課で言ったことあります。自分はこの検査はそれほど必要ないと思っているのに、お医者さんが受けてと勧めてくるから断れない、でもそれがすごい不信感になっているという話をされた市民がいて、担当課に報告と相談をしたら、なかなか難しいと言われました。そういうことも問題ですよ。

澁谷委員

それもあつし、健康寿命のいくつかあると思います。できる範囲からのスタートを提案して。お医者さんには世話になるので厳しいことは言えない中で、改善できる点が提案できれば。

柳楽委員長

皆さん言い残したことはないですか。大丈夫ですか。

(「はい」という声あり)

では、書いていただけただけでしょうか。

(各々、今後の政策討論のテーマとしてふさわしいものを紙に書き、回収して内容を集約中)

新開書記

書き方がまちまちなのですが、結局、認知症が5票ですか、子育て支援が1つ。西村委員の認知症がダントツで多いです。

澁谷委員

認知症だけだと弱いので、医療費を削減とか、何かプラスして欲しいなど。その中で皆さんの意見をプラスしていけば。

柳楽委員長

今、皆さんに書き出していただいた分では、西村委員から挙げていただいた琴浦町の取り組みを基本とした認知症予防の強化を挙げさせていただいて、そこに他の方の意見も取り入れながらやっていければ良いと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

今後の進め方ですが、具体的にやっていかないといけないと思うので。

澁谷委員

2週間に1度くらいやってもらって、あと3回はやらないと。4月にもう1回、5月に2回くらい。6月に最終確認しながら提出して。

田畑委員

テーマが認知症予防を強化し、西村委員のテーマを踏襲するのか。

澁谷委員

具体的な提案がもしあればプラスアルファで。

田畑委員

テーマが認知症予防を強化し、その後色んなテーマの基本を付け加えるのであれば、付け加えた背景・課題・問題等を自分で作ってくれと。そして政策内容にも追加する。西村委員が提案され

ているのはここに一杯書いてあるが、これを全てできるのか。

澁谷委員 具体的にないと。執行部がこれを見ても分からない。

柳楽委員長 これの中でSOSネットワークについては一応は作っているのですよね。結構色々な事業者さんが登録していただいている。

澁谷委員 これ探す分かな。

柳楽委員長 普段の仕事の中で地域をまわられる時に、変な人が歩いていたとか、異変に気付いたら知らせてもらう。徘徊もですがそれだけではなくて。

布施委員 政策提言をしようと思えば、ALSOKの発信タグを付けたり、政策をやっている先進地事例があるからそういったことにつなげていくとか、具体的にそういう提案も出てくるのでは。SOSネットワークはあるけど、充実するためには、こういう政策提言ができるのではないかということが言えるのでは。

澁谷委員 どう持っていきますか。それぞれ認知症についてプラスアルファのものを皆さんにピックアップしてもらって、それぞれ作ってくるか。

柳楽委員長 西村委員さんの提案をもとに、ここに自分はこれを入れ込みたいというものを次回に持ち寄っていただくということで。

澁谷委員 その前に新開さんに出して、今回みたいに一覧にしてもらう。メールで送ってコピーしやすく。

新開書記 次回提出するというのは西村委員さんの政策提案を柱に付け加えるということで。

澁谷委員 補正と他の委員さんの意見も加味していきながら、それなりに各自が作ってみれば良い。

田畑委員 それを委員会の2日前に。

澁谷委員 新開さんに送って一覧表を作ってもらって、

柳楽委員長 次回はいつにしますか。ベースが西村委員さんのもので、今はテーマを出していただきました。皆さんが付け加えたいものを次回の委員会の2日前くらいに提出していただき、読み込んで次の委員会に出席していただく形で今お話が進んでいます。

澁谷委員 様式はこれでよかろう。最後のまとめに使えるような形に。

新開書記 はい。

柳楽委員長 次回を何日にしますか。

(以下、日程調整の自由討議)

22日は皆さんいかがですか。10時からで良いですか。

(「はい」という声あり)

琴浦町で近隣の人が声をかけるというのはつながっていると思います。そういう体制ができるということが。

澁谷委員

琴浦町の資料を読み返さないといけないな。22日なら新開さんに出すのはいつ。

(以下、日程調整の自由討議)

柳楽委員長

では17日の午前中ということですのでよろしくお願いします。

澁谷委員

視察はどうなったかな。

新開書記

幹事さんからいくつか提案をいただいて行程を調整中です。

澁谷委員

煮詰まっていないというのはよく分かりました。

柳楽委員長

それでは以上で福祉環境委員会を終了いたします。

(閉 議 11時10分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 柳楽 真智子 ⑩